

ダイジェスト版

経済社会における 会計・監査の意義と役割

香川大学 経済学部

2014年11月6日

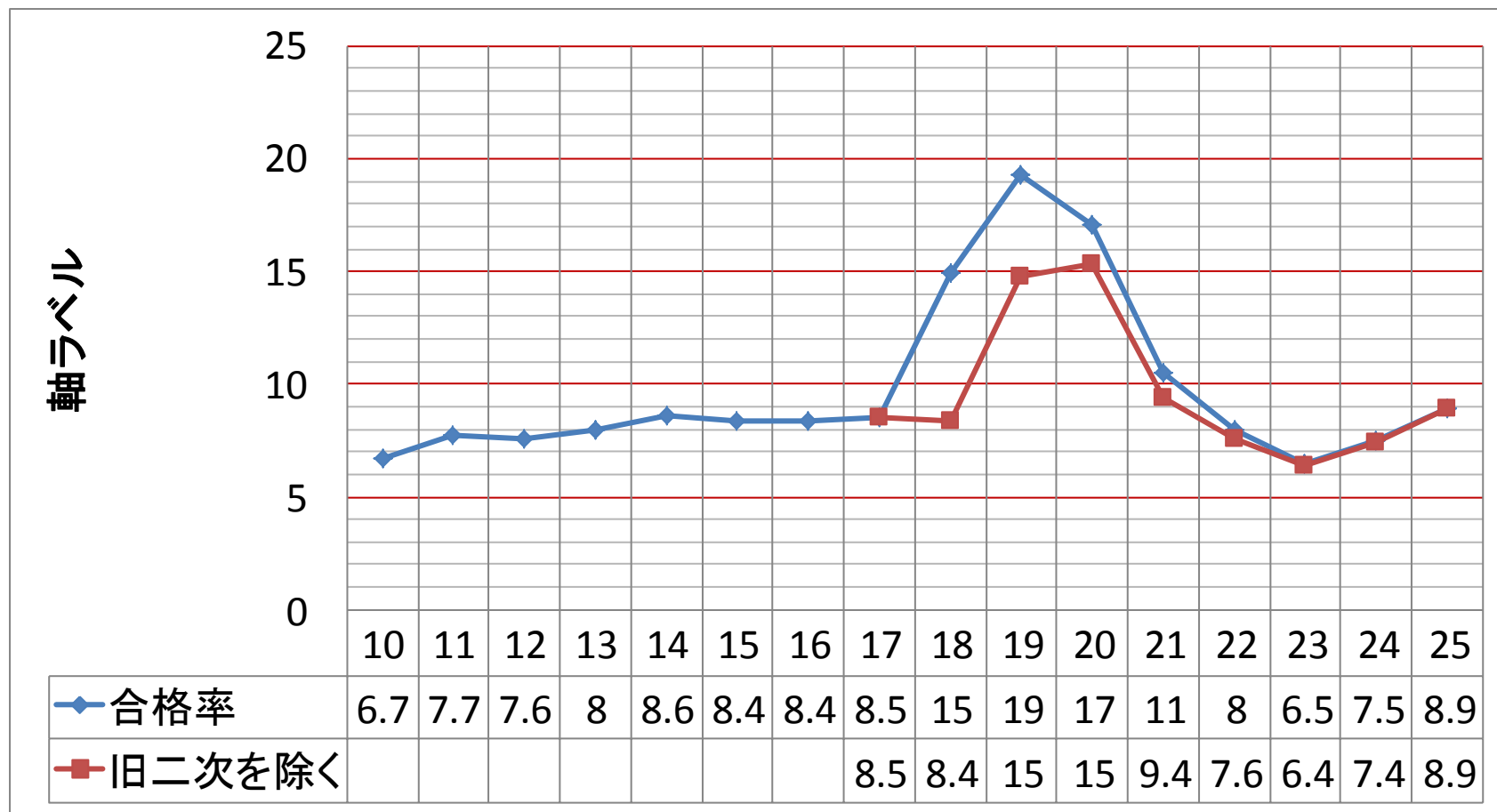
公認会計士・監査審査会
常勤委員 廣本 敏郎

公認会計士の資格

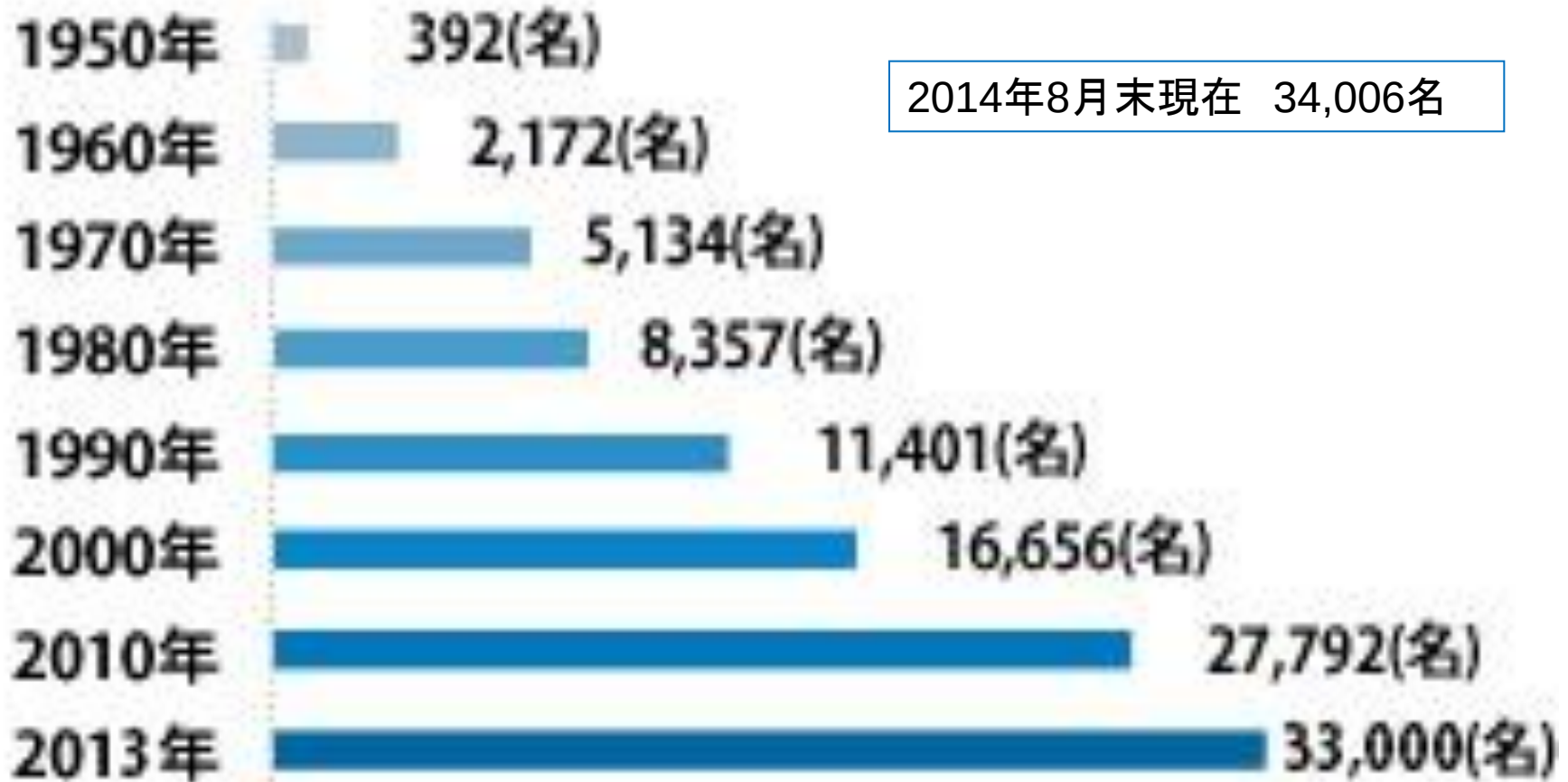
公認会計士試験に合格した者であって、第十五条第一項に規定する業務補助等の期間が二年以上であり、かつ、第十六条第一項に規定する実務補習を修了し同条第七項の規定による内閣総理大臣の確認を受けた者は、公認会計士となる資格を有する。

（『公認会計士法』第3条）

合格率（平成10年以降）



日本公認会計士協会会員数の推移



各年12月末現在の会員数（準会員を含む）

公認会計士の使命

公認会計士は、監査及び会計の専門家として、独立した立場において、財務書類その他の財務に関する情報の信頼性を確保することにより、会社等の公正な事業活動、投資者及び債権者の保護等を図り、もって国民経済の健全な発展に寄与することを使命とする。

（『公認会計士法』 第1条）

会社経営のために会計が必要

- 人間が一人でやれることには限界がある。
 - そこで、大勢が力を合わせ人々に必要なものを生産し販売するための会社組織が作られる。しかし、会社を作っただけで自動的にうまくいくという保証はない。
- 会社の経営がうまくいっているか、反省と改善が必要。
 - 会社経営の成功と失敗を測定する必要。
 - 重要な測定尺度は、会社の儲け（利益）
 - 損失がかさめば財産が減少して倒産の危機が迫り、雇用も維持できないので、利益の獲得は不可欠の前提。
 - 競争相手が黒字（利益）なのに、わが社が赤字（損失）なら、経営の改善が必要な証拠。

（神戸大学 桜井教授の夢ナビライブ2012講義より）

利益はどんな方法で測るのか

企業経営に伴う財産の変化「貸借対照表」

現 金	借入金
500	200
	資本金
	300

左右 同額

現 金	借入金
100	200
商 品	資本金
400	300

商品250を 280で販売

現 金	借入金
100	200
商 品	資本金
150	300
売掛金	
280	

+ 30利益

利益はどうやって生じたか「損益計算書」

費 用	収 益
(売上原価)	(売上高)
250	280

利益30

(桜井教授の夢ナビライブ
2012講義より)

利益を測る技術の誕生

- この技術の名前は「複式簿記」
 - いつ ⇒ 遅くとも1400年代に
 - どこで ⇒ 北イタリアで
 - 誰が ⇒ 地中海貿易に従事した商人たちが

歴史上の証拠

数学者ルカ・パチョーリ(1445-1517)がベネチアで1494年に出版した数学の教科書の一部で利益測定技術(複式簿記)を解説

(桜井教授の夢ナビライブ2012講義より)

人類の共有財産としての複式簿記

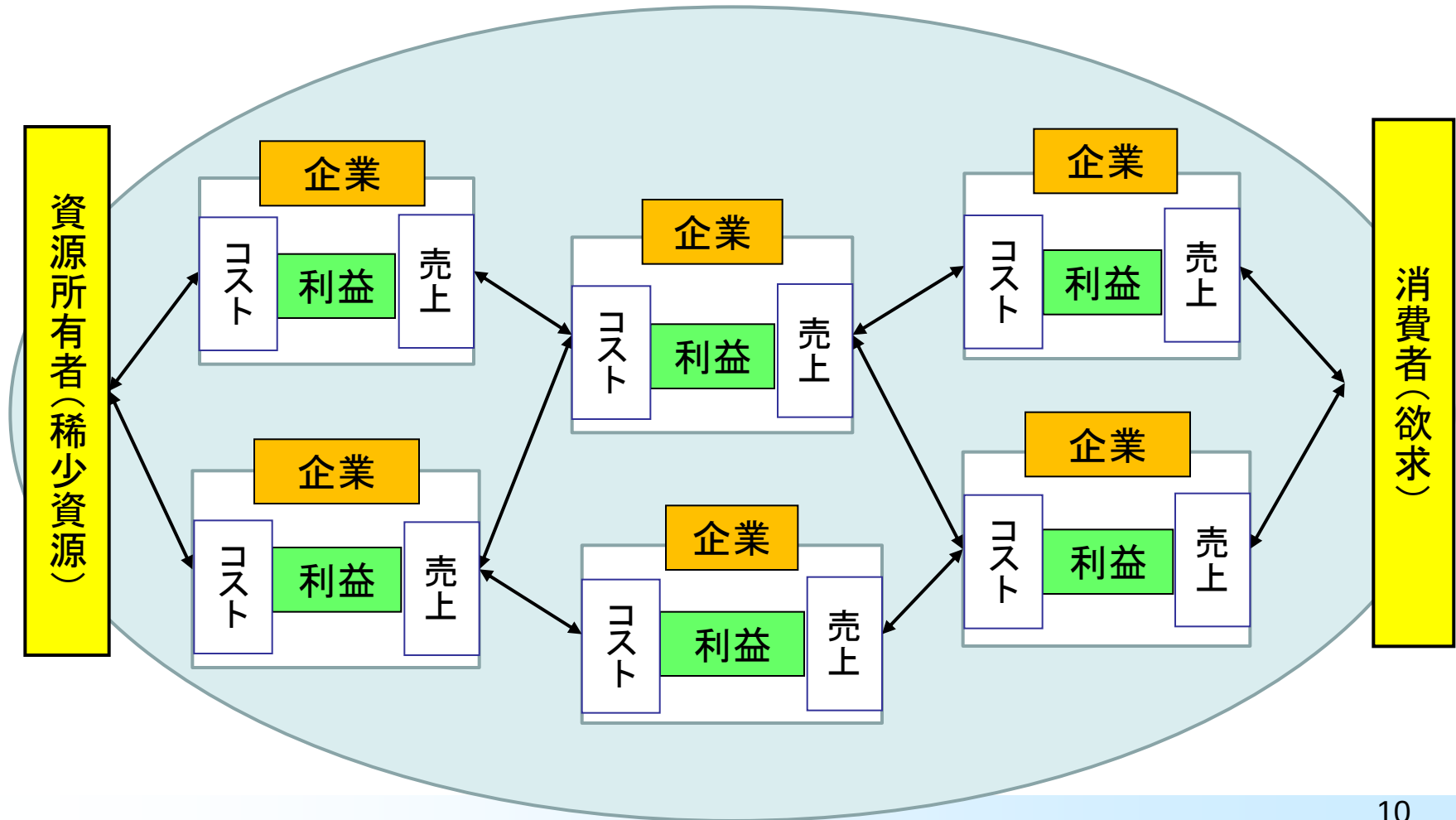
～複式簿記を巡る金言～

- ・ 商売をやってゆくのに、広い視野を与えてくれるのは、複式簿記による整理だ。整理されていればいつでも全体が見渡される。細かいことでまごまごする必要がなくなる。複式簿記が商人に与えてくれる利益は計り知れない。
- ・ 人間の精神が生んだ最高の発明の1つだね。立派な経営者は誰でも経営に複式簿記を取り入れるべきなんだ。」

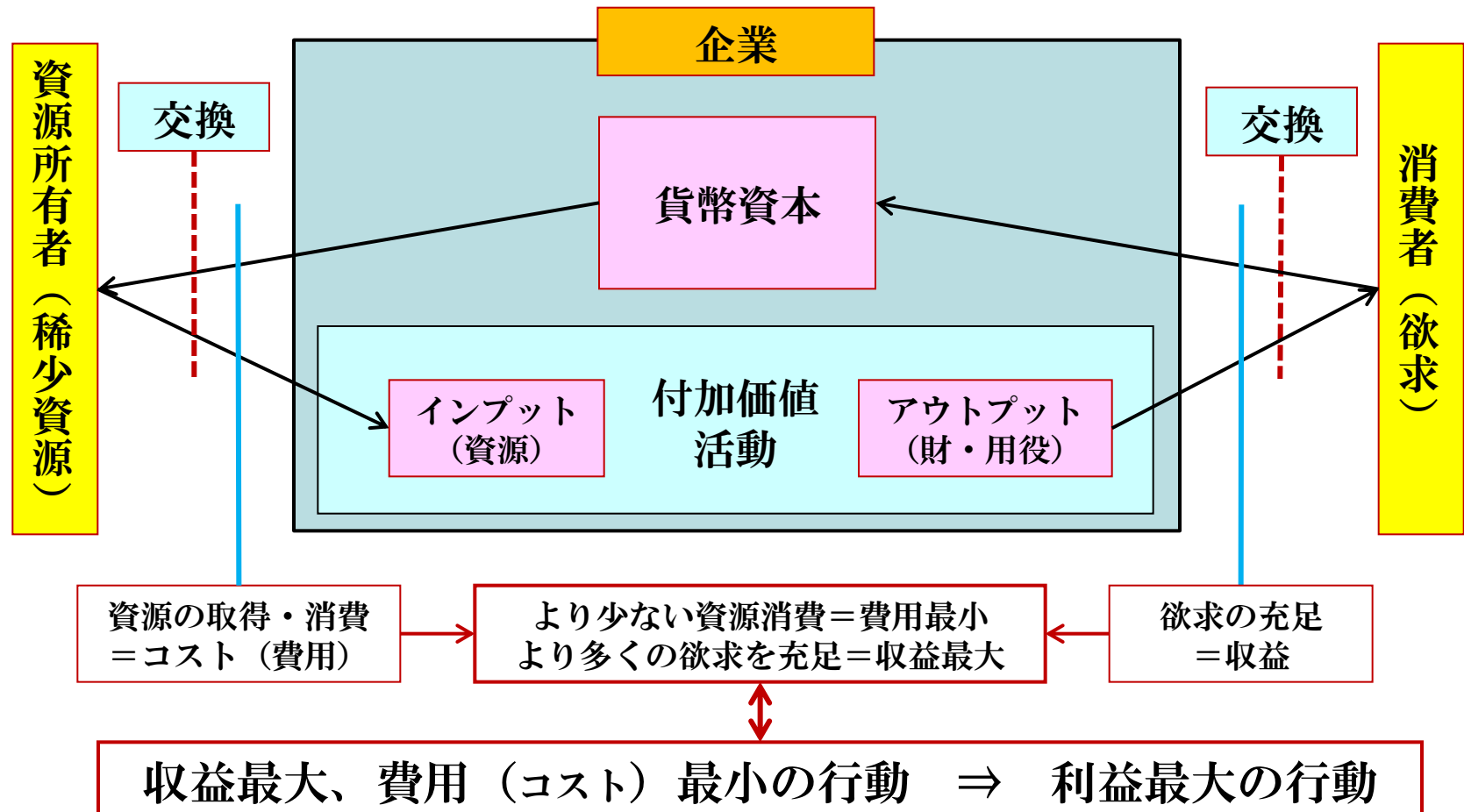
(ゲーテ『ヴィルヘルム・マイスターの修業時代』より。
坂本孝司『簿記・会計先覚者の金言集・解説』TKC出版、2013年)

企業の行動原理

～「売上最大、コスト最小」～

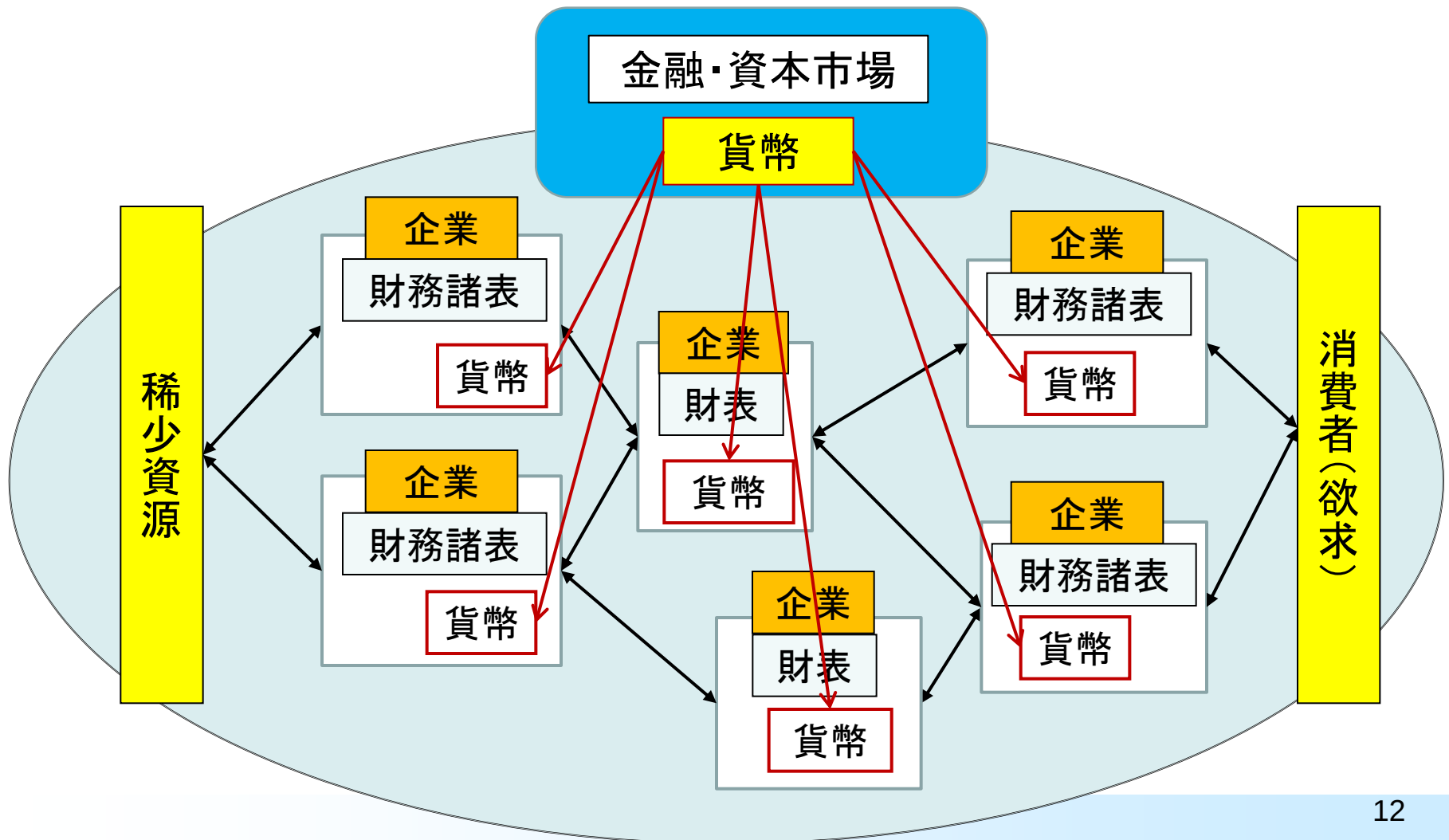


簿記会計による企業活動の見える化

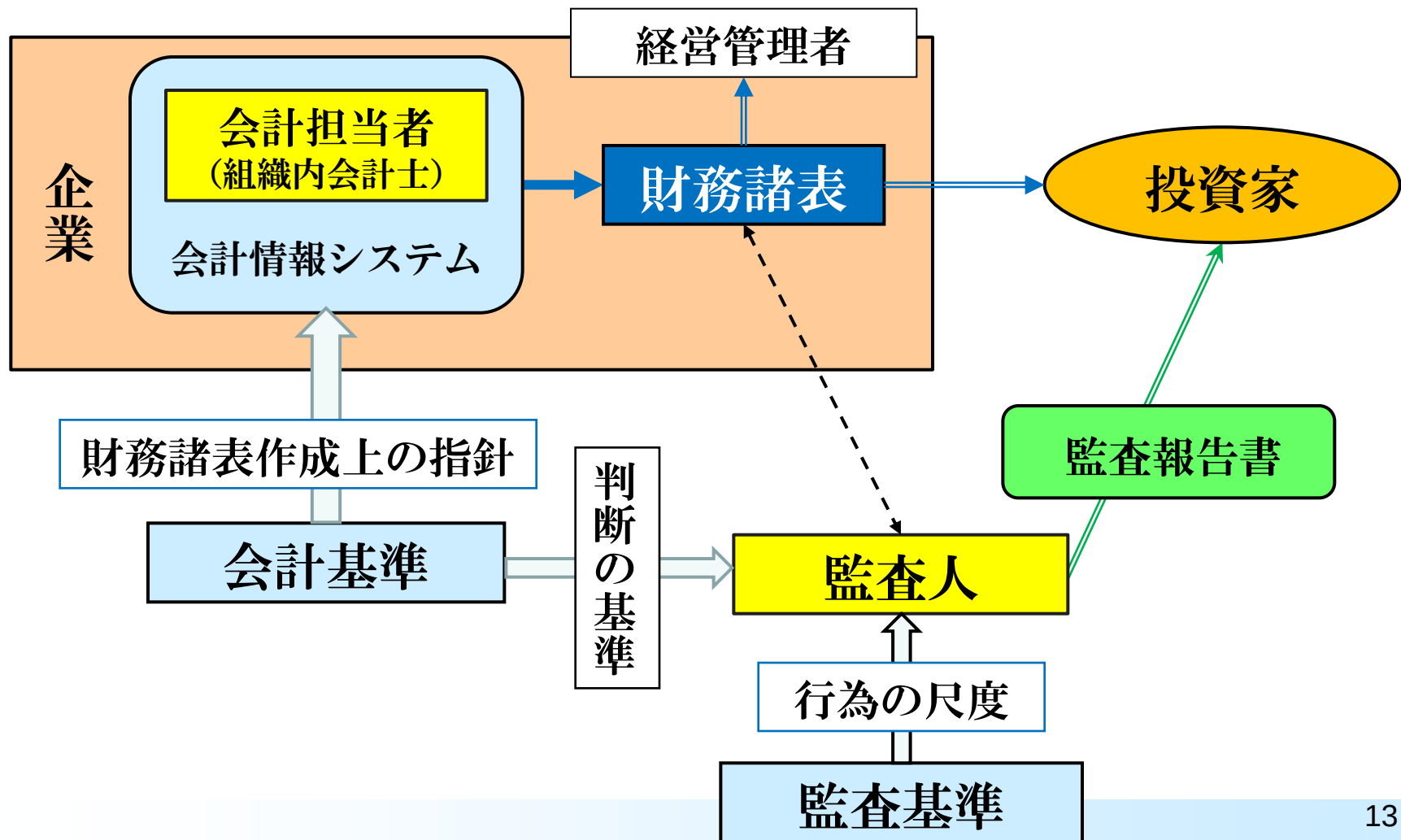


国民経済における効率的な資金配分

～実体経済を支える金融・資本市場～



財務諸表の信頼性確保と公認会計士



所有と経営の分離

- 企業が小規模で、その経営はオーナー経営者によって行われ、また、取引が比較的単純な性格のものであったときには、会計基準の必要性はほとんどなかった。
 - しかし、大企業が出現して、所有と経営の分離傾向が生じると、会計の任務は拡大された。すなわち、オーナー経営者のために会計を行うことに加えて、不在出資者への情報提供という機能が生まれた。その結果、会計基準の必要性が大きく増大した。

私的な会計から公的な会計へ

- かくして、信頼し得る適切な情報を提供するという会計の義務は、公衆の利害に結びつき、会計は公的な性格を帯びてきた。
 - 経営者は、その公的な責任を自覚することを要求されると共に、会計基準を発展せしめ、また利用することが必要となってくる。

公認会計士の責任

- ・ 会計の公的な義務が認識されているかどうかを見究めるという役割の多くは、公認会計士の肩にかかっている。
 - ・ なぜなら、出資者その他の利害を会社経営者に対して代表すると同時に、すべての利害関係者たちに対し経営者を代表することは、公認会計士の本来の機能だからである。
- － この二重の責任を果たすため、公認会計士は、広い理解と鋭い正義感、そして高度の独立性を備えなければならない。

(ペイトン＝リトルトン『会社会計基準序説』 1-6頁)

皆さんへのメッセージ

- 会計・監査は公共財です。
 - － 会計・監査は、すべての市場参加者が利用する公共財としての経済情報を提供しており、国民経済（市場経済）が円滑に機能するために不可欠な社会基盤（社会インフラ）です。
 - － 公認会計士は、国民経済の重要な社会インフラを担う会計・監査の専門家としての社会的使命を有しています。

皆さんへのメッセージ (2)

- ・ 公認会計士・試験合格者の活躍フィールドには広がる未来と無限の可能性があります。
- － いまだに公認会計士=監査法人勤務とイメージされる方が多いですが、公認会計士の知識・経験・判断は、監査業界に限らず社会のさまざまな場面で必要とされています。
- － 一般企業、官公庁等の組織に属している公認会計士・試験合格者は組織内会計士と呼ばれますが、組織内会計士は、現在1,000人を数えています。

ご清聴ありがとうございました

充実した大学生活を送られることをお祈りします。

**公認会計士・監査審査会
廣本 敏郎**